



『QCサークル』誌 2026年9月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

表2～

NGK株式会社（旧：日本ガイシ） 代表取締役副社長 森 潤さん

日本ガイシからNGK株式会社への社名変更を「第三の創業」と位置づけ、変革への挑戦を続ける同社の取組みを紹介します。全社改善活動「QuiC活動」では、約700サークルが国内外で活動。QCストーリーやQC手法を基本としながらも、形式にとらわれず、自分たちの創意工夫を活かした改善へと進化しています。海外サークルの活躍や「NGK-BOX」など、改善活動を通じて主体性を育み、挑戦する風土をつくる同社の変革について話を伺います。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.3～

UD トラックス㈱

UD トラックスでは、QC サークル活動を「UDPS サークル活動」と名づけ、人財育成と結びつけながら全社で展開しています。年間3テーマの活動を支える強固な推進体制や、未然防止型 QC ストーリーまで取り入れた手厚い研修など、独自の活性化策に注目です。本記事では、全社大会などで高い評価を受けた「ひまわりサークル」を取材。若手メンバーが活動を通じて自信をつけ、職場を牽引するまでに成長した軌跡と、現場見学から生まれた改善アイデアなど、挑戦する人づくりの姿に迫ります。

★特集：私たちのコミュニケーションを活性化する情報共有の工夫はこれ！

p.9～

「伝えたつもりが伝わっていなかった」、「情報共有がうまくいかず、活動が滞ってしまった」——QC サークル活動で起こりがちなコミュニケーションの問題を、12 の実践事例からひも解きます。掲示板や動画、定例会などのツールだけでなく、理解の確認や対話、伝え方の工夫など、“伝わる”ためのさまざまなアイデアを紹介。情報共有のギャップを埋め、メンバー間の理解とつながりを深め、活動を円滑に進めるための工夫をぜひ参考にしてください。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QC サークル活動をより楽しく進めるために～

p.24～

第9回 目標達成可能と思われる方策案（アイデア）をできるだけ多く出そう！

課題達成型 QC ストーリーで現状打破につなげるには、経験や実現性にとらわれず、方策案（アイデア）をできるだけ多く出すことが重要です。今月号では、スーパーのベーカリー部門「ハッピー工房サークル」のメンバーのやりとりを通じて、着眼点を広げ、アイデアを生み出すための考え方を解説します。互いのアイデアを批判せず、便乗して育てる工夫や、予想効果を数値で評価する方法など、現状を大きく打破する方策を生み出すためのヒントが得られます。

★サークル Q&A ただいま出勤 QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

P.30～

カルテ 202 報告書の作成に時間がかかり悩みを抱えている社員が多い

報告書の作成が後回しになりやすく、効率的に作成するにはどうすればよいかというお悩みについて、編集委員がアドバイスします。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例2件、ワンポイント1件を紹介します。

体験事例：p.32～

1. トヨタ車体㈱ 吉原工場「やったるで～2 サークル」
「ヒューズ取り扱い作業性の向上～「やればできる」俺たちの挑戦～」
2. ㈱岡山村田製作所「ムキムキムサークル」
「仮焼工程における汚泥回収作業負担軽減」

ワンポイント：p.40～

1. トヨタ紡織㈱ 豊橋工場「ミステリーサークル」
「ドアトリム組み立て工程における重筋作業低減」

★ルポ

P.44～

大学院生との対話が QC サークル岡山地区を変える

～岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻 PBL との協働から見えた新たな可能性～

岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻の PBL と QC サークル岡山地区が協働し、地区活動の課題解決に取り組んだ実践を紹介します。テーマは「参加企業をどのように増やしていくか」。学生たちは若い世代ならではの率直な視点から、発表への心理的ハードルなど、これまで見えていなかった問題を発見し、ポスターセッションや若手同士の交流の場などを提案しました。世代や立場を超えた対話から生まれた“目からウロコ”の気づきと、双方にとって実りある学びの可能性を紹介します。

★私たちの活動を紹介します！〈JHS（含む医療・福祉）部門編〉

P.46～

社会福祉法人土佐厚生会 障害者支援施設とさ「とさ Smile◎」

利用者様の身体状況の変化に伴う移乗介助の負担から、スタッフの腰痛が課題となっていた障害者支援施設とさ。「とさ Smile◎」は、ノーリフティングケアの推進に向け、毎週の機器操作練習やアンケートによる意識の可視化、利用者様への段階的な導入などに取り組みました。生活支援員と理学療法士が専門性を活かして学び合い、スタッフ全体の意識と技術を高めた結果、身体的負担の軽減や業務効率、チームワークの向上を実現。安全・安心なケアを支える「全員で学び、全員で成長する」活動に注目です。

★QC検定道場

P.50～

第9回 標準化，統計的方法の基礎

「QC 検定道場」では、品質管理検定（QC 検定）3 級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。今月は、QC 検定 3 級の過去問題から、「標準化」と「二項分布」について重要な問題を詳しく解説します。

★連載講座：職場で使える心理学～ QC サークル活動を、考え・工夫し・成長する活動とするために～

p.54～

第3回 コミュニケーションと信頼構築～リーダーの新しいあり方～

QC サークル活動の成果を左右する「コミュニケーション」を、産業組織心理学の視点から解説します。言葉だけでなく、表情や声のトーン、姿勢などの「非言語コミュニケーション」が相手に与える影響や、誤解を生んだ事例から、信頼関係を築くためのポイントを紹介。さらに、メンバーの主体性ややる気を引き出す「心の花束」コミュニケーションの5つのステップを具体例とともに学びます。心理的安全性を高め、対話を促し、メンバーの心を動かす「新しいリーダーのあり方」を一緒に考えていきましょう。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL：03-5378-9817 E-mail： editoqcc@juse.or.jp

